



2025年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年10月21日

上場取引所 東 名

上場会社名 株式会社ブロンコビリー

コード番号 3091 URL <https://www.bronco.co.jp/corporate/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 阪口 信貴

問合せ先責任者 (役職名) 上席執行役員 コーポレート本部長 (氏名) 桑原 康弘 TEL 052-857-4129

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無：有

決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2025年12月期第3四半期の連結業績（2025年1月1日～2025年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2025年12月期第3四半期	22,469	12.6	2,058	2.2	2,132	3.6	1,419	3.7
2024年12月期第3四半期	19,952	13.8	2,015	69.2	2,058	67.3	1,369	85.6

(注) 包括利益 2025年12月期第3四半期 1,426百万円 (3.2%) 2024年12月期第3四半期 1,381百万円 (84.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2025年12月期第3四半期	95.39	95.20
2024年12月期第3四半期	92.08	91.87

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2025年12月期第3四半期	25,475	21,148	82.8
2024年12月期	24,520	20,074	81.6

(参考) 自己資本 2025年12月期第3四半期 21,081百万円 2024年12月期 19,997百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2024年12月期	—	12.00	—	12.00	24.00
2025年12月期	—	13.00	—		
2025年12月期（予想）				13.00	26.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	29,500	10.8	3,000	18.5	3,080	18.5	1,870	9.0	125.71

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ― 社 (社名) ―、除外 ― 社 (社名) ―

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2025年12月期 3 Q	15, 079, 000株	2024年12月期	15, 079, 000株
② 期末自己株式数	2025年12月期 3 Q	191, 776株	2024年12月期	203, 559株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2025年12月期 3 Q	14, 882, 511株	2024年12月期 3 Q	14, 871, 311株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等につきましては、添付資料 2 ページ「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 金額の表示単位の変更について

当社の四半期連結財務諸表に表示される科目その他の事項の金額は、従来、千円単位で記載しておりましたが、第 1 四半期連結会計期間及び第 1 四半期連結累計期間より百万円単位で記載することに変更いたしました。

なお、比較を容易にするため、前連結会計年度および前第 3 四半期連結累計期間についても百万円単位に組替え表示しております。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当社グループは、「食を通じて人を幸せにしたい」という想いを込めて、「ご馳走カンパニー」の実現という長期ビジョンを掲げ、持続的な付加価値創造と企業価値向上に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間（自2025年1月1日至2025年9月30日）の経営環境は、堅調な企業業績、雇用や所得環境の改善など、緩やかな回復傾向が継続しておりますが、米国政策や為替相場の動向、原材料の価格高騰、物価上昇に伴う節約志向、消費マインド冷え込みの懸念など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

外食業界におきましても、人流の回復に加え、インバウンド需要の拡大含め、外食需要は総じて堅調に推移いたしました。一方、人手不足の常態化とともに、人件費やエネルギー価格の上昇、継続する原材料価格の高騰など、引き続き厳しい経営環境が続いております。

こうした状況下、当社におきましては、原材料の調達幅を広げ、数量限定での高品質なお買い得ステーキの投入を通じ、引き続き高付加価値商品の魅力を提供してまいりました。さらに、新たな価値提案として激辛メニューを期間限定で販売することにより、新規顧客の獲得に努めてまいりました。そして、従業員の採用と定着及び教育を着実に進めることで、お客様へ提供する商品、サービスの品質をさらに改善してまいりました。

また、「かつ雅」等のとんかつ専門点を展開しております子会社の株式会社レ・ヴァンでは、かつ雅創業30周年大感謝祭を開催しました。地元に密着したブランド力と実績が当社の「とんかつ業態」の愛知県下での営業基盤を確固たるものにできるとともに、レ・ヴァンにおいても当社グループの食材調達力・工場加工力を活用することで収益力の向上に繋がると考えております。シナジー効果を発揮し「とんかつ業態」の成長基盤を固め、当社グループの成長を目指してまいります。

さらに、子会社の株式会社松屋栄食品本舗では拡張された当社向けの製造ラインなどにより、新たに常温保存のステーキソースやドレッシングのブロンコビリー店頭販売をはじめ、松屋栄食品本舗全体での当社店舗向けの製造割合は5割を超え、更なる商品品質向上と店舗数増加に対応できるようにグループとしての生産体制を強化しております。

店舗面では既存店の強化に取り組むとともに、「ブロンコビリー」を群馬県に2店舗（太田店、伊勢崎店）、埼玉県に1店舗（羽生noNIWA店）、大阪府に1店舗（吹田岸部店）、兵庫県に1店舗（姫路神屋店）を開店しました。

その結果、店舗数はステーキ・ハンバーグ業態「ブロンコビリー」144店舗、とんかつ業態「かつひろ」、「かつ雅」等14店舗、居酒屋業態「信貴や」1店舗のグループ合計159店舗となっております（2025年9月末日現在）。

なお、当社グループは、2025年4月1日付で新経営体制へ移行しました。新体制では、ブロンコビリー事業など既存事業の拡大と組織体制の強化を図るとともに、更なる業容拡大に向けた新業態開発や海外展開を行ってまいります。また、円滑な業務執行体制の継続を図りながらも創業から大切にしてきた、人を中心とした経営理念である「仲間の物心両面の幸福の実現」を次世代に継承し、ビジョンである「ご馳走カンパニー」の更なる実現により、お客様をはじめ全てのステークホルダーの皆様と共に新たな価値を創造してまいります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は224億69百万円（前年同期比12.6%増）、営業利益は20億58百万円（前年同期比2.2%増）、経常利益は21億32百万円（前年同期比3.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は14億19百万円（前年同期比3.7%増）となりました。

なお、当社グループは飲食事業の単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産合計は254億75百万円（前連結会計年度末245億20百万円）となり、9億54百万円増加いたしました。その主な要因は、流動資産の現金及び預金が8億9百万円、新規出店等により有形固定資産が4億77百万円増加し、原材料及び貯蔵品が3億74百万円減少したことなどによるものであります。

(負債)

一方、負債合計は43億27百万円（前連結会計年度末44億46百万円）となり、1億19百万円減少いたしました。その主な要因は、賞与引当金が2億33百万円増加し、未払金が2億39百万円、未払法人税等が1億44百万円減少したことなどによるものであります。

(純資産)

純資産合計は211億48百万円（前連結会計年度末200億74百万円）となり、10億73百万円増加し、自己資本比率は82.8%（前連結会計年度末81.6%）となりました。その主な要因は、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による増加と配当金の支払い等により利益剰余金が10億37百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年1月21日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,388	8,198
売掛金	1,047	1,135
商品及び製品	224	145
原材料及び貯蔵品	939	564
前払費用	231	262
その他	62	52
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,893	10,358
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	7,055	7,529
機械装置及び運搬具（純額）	130	113
工具、器具及び備品（純額）	576	604
土地	2,784	2,784
その他	96	89
有形固定資産合計	10,642	11,120
無形固定資産	248	206
投資その他の資産		
投資有価証券	168	178
長期預金	2,000	2,000
差入保証金	1,137	1,143
その他	430	466
投資その他の資産合計	3,736	3,789
固定資産合計	14,627	15,117
資産合計	24,520	25,475
負債の部		
流動負債		
買掛金	789	798
短期借入金	55	137
リース債務	28	27
未払金	1,291	1,051
未払法人税等	564	420
契約負債	173	213
賞与引当金	76	310
販売促進引当金	129	152
株主優待引当金	41	28
その他	585	487
流動負債合計	3,735	3,626
固定負債		
リース債務	249	228
資産除去債務	455	466
その他	5	5
固定負債合計	710	700
負債合計	4,446	4,327

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2024年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,210	2,210
資本剰余金	2,132	2,144
利益剰余金	16,071	17,109
自己株式	△463	△436
株主資本合計	19,951	21,027
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	46	53
その他の包括利益累計額合計	46	53
新株予約権	77	67
純資産合計	20,074	21,148
負債純資産合計	24,520	25,475

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
売上高	19,952	22,469
売上原価	6,506	7,443
売上総利益	13,446	15,026
販売費及び一般管理費	11,431	12,967
営業利益	2,015	2,058
営業外収益		
受取利息	4	8
受取配当金	2	3
受取賃貸料	24	18
協賛金収入	27	26
投資有価証券売却益	-	24
その他	12	13
営業外収益合計	70	95
営業外費用		
支払利息	0	0
賃貸費用	16	14
その他	9	6
営業外費用合計	27	21
経常利益	2,058	2,132
特別損失		
固定資産除売却損	1	2
減損損失	-	12
特別損失合計	1	14
税金等調整前四半期純利益	2,057	2,117
法人税、住民税及び事業税	729	752
法人税等調整額	△41	△54
法人税等合計	687	698
四半期純利益	1,369	1,419
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,369	1,419

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年1月1日 至 2025年9月30日)
四半期純利益	1,369	1,419
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	12	6
その他の包括利益合計	12	6
四半期包括利益	1,381	1,426
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,381	1,426
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)
減価償却費	643百万円	684百万円
のれんの償却額	4	4

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間（自 2024年1月1日 至 2024年9月30日）

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間（自 2025年1月1日 至 2025年9月30日）

当社グループは、飲食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。